

神様のタイミング

シリーズ～続 福音の力～

2021/7/4

エルサレムを離れた弟子たち

- 教会の諸問題を扱うために選ばれた7人
 - ステファノ・フィリポ・プロコロ・ニカノル・ティモン・パルメナ・ニコラオ
- ステファノの殉教後に起こった迫害
 - 「その日、エルサレムの教会に対して大迫害が起こり、使徒たちのほかは皆、ユダヤとサマリアの地方に散って行った。フィリポはサマリアで福音を伝えた。」8:1
- サマリアのリバイバル
 - 「フィリポが神の国とイエス・キリストの名について福音を告げ知らせるのを(サマリアの)人々は信じ、男も女も洗礼を受けた。」8:12

使徒言行録8章26～40節

さて、主の天使はフィリポに、「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け」と言った。そこは寂しい道である。フィリポはすぐ出かけて行った。折から、エチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。すると、“霊”がフィリポに、「追いかけて、あの馬車と一緒に行け」と言った。フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。

宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。毛を刈る者の前で黙している小羊のように、口を開かない。卑しめられて、その裁きも行われなかった。だれが、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」

宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの箇所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。道を進んで行くうちに、彼らは水のある所に来た。

宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」フィリポが、「真心から信じておられるなら、差し支えありません」と言うと、宦官は、「イエス・キリストは神の子であると信じます」と答えた。そして、車を止めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を授けた。彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びにあふれて旅を続けた。フィリポはアゾトに姿を現した。そして、すべての町を巡りながら福音を告げ知らせ、カイサリアまで行った。

サマリアからガザへ下る道へ

- **突然の移動命令！**
 - 「『ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザへ下る道に行け』と言った。そこは寂しい道である。」
 - サマリア宣教がうまくいっていたのに？
 - 「**フィリポはすぐ出かけて行った**」！
- **なぞの人物が馬車で移動中**
 - エチオピア人の女王に仕える宦官
 - わざわざエルサレムに礼拝に来て、高価なイザヤ書の巻物を買って帰る途中だった
 - 彼はユダヤ教の「改宗者」となったのか？
 - 彼はなぜヘブライ語を読めたのか？

- ビリボの四分領
- デカポリス*
- ヘロデ・アンティパスの四分領
- 独立領域*
- ローマ行政長官の支配領
- ローマのシリア州
- デカポリスの町

*デカポリスとアスカロンは、シリア州を治めるローマの支配者の下に独立を保った。

ローマ行政長官の居館地

大海 (地中海)

4
アケラオはヘロデの死によって、ユダヤ、サマリア、イドマヤの支配者になった。彼の治世は、王位を剥奪され、追放されたA.D. 6まで続いた。彼の領土は、その後ローマ行政長官の下に置かれた。

ヘロデの妹ファロメは、アゾト、サムニヤ、ファサエリスを与えられた。これらは徐々に、アウグストゥスの妻リヴィアや皇帝ネロの手に渡った。

5
アスカロン

サマリア

エルサレム

ガザ

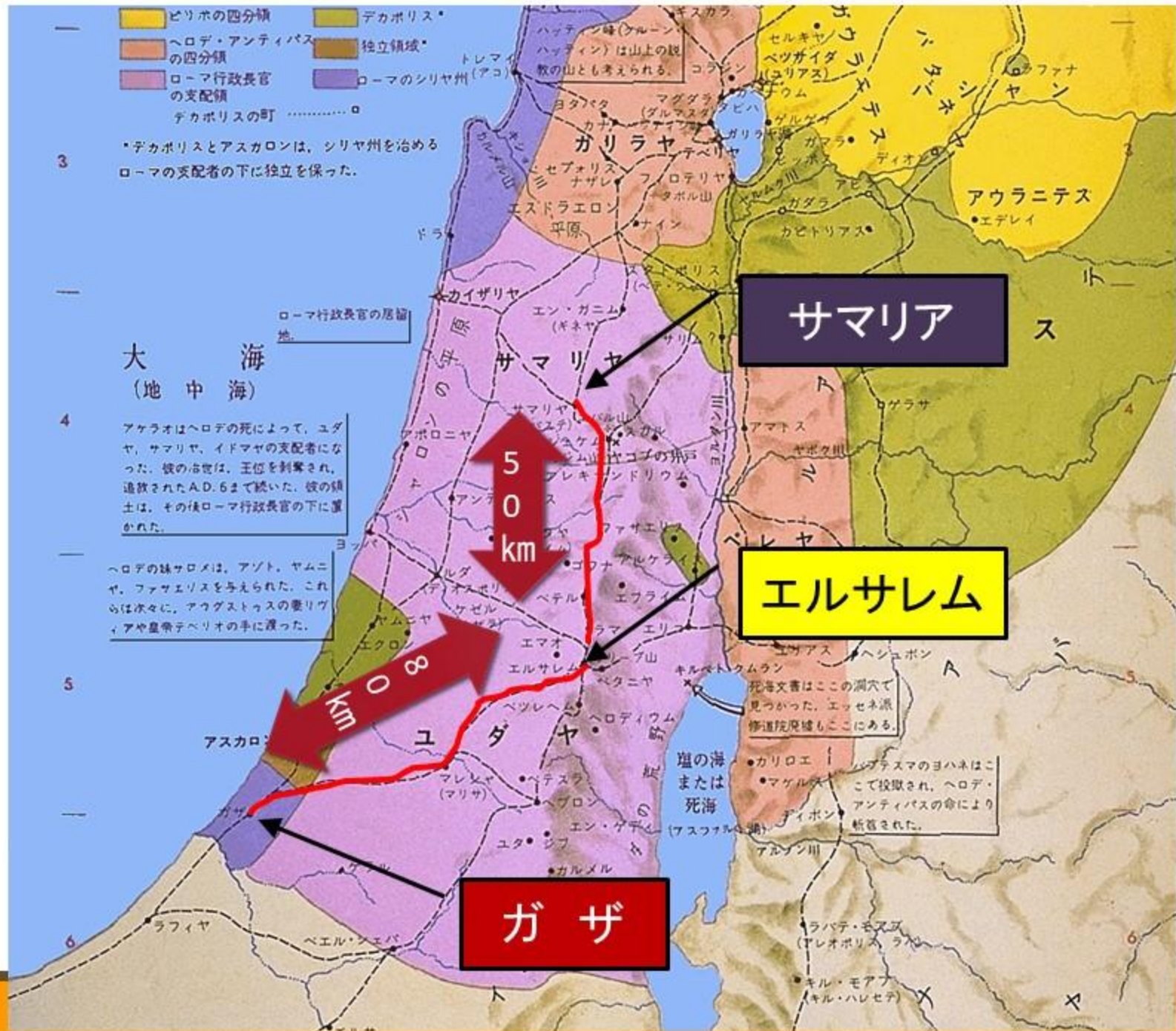
50 km

80 km

死海文書はこの洞穴で見つかった。エッセネ派修道院廃墟もここにある。

塩の海または死海 (アスファルト湖)
●カリロエ
●マゲル
●ディボン
●アルゴン川

●ラバテ・モアブ (アレオポリス、ラバテ)
●キル・モアブ (キル・ハレセテ)



馬車に乗り込むフィリポ

- 馬車に走り寄るフィリポ
 - 「追いかけて、あの馬車と一緒にいけ」
 - 「フィリポが走り寄ると」<フィリポは走った！
 - 馬車の中からイザヤ書を朗読する声が聞こえた
- 馬車に乗り込み解説するフィリポ
 - 「フィリポは『読んでいることがお分かりになりますか』と言った。」
 - 「宦官は、『手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう』と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。」

福音を語るフィリポ

- 宦官はイザヤ書の53章(苦難のメシアの預言)を読んでいた
 - 「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。毛を刈る者の前で黙している小羊のように、口を開かない。卑しめられて、その裁きも行われなかった。…」
- 宦官からの絶好の質問
 - 「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」
- イエス様の福音を語るフィリポ
 - 「フィリポは口を開き、聖書のこの個所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。」

宦官の洗礼

- 「水のある所に来た」時宦官が洗礼を申し出た
 - 「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」
- フィリポは宦官の信仰を確認し洗礼を授けた
 - 「真心から信じておられるなら、差し支えありません」と言うと、宦官は、「イエス・キリストは神の子であると信じます」と答えた。
- 救われて祖国に帰った宦官
 - 「彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びにあふれて旅を続けた。」

神様のタイミング

- どのあたりで二人は出会ったのか？
 - 宦官の一行がフィリポに追いついた場所
 - 宦官が読んでいたのはイザヤ書の巻物
 - 巻物は途中からは読めない！
 - 日本語の聖書で53章まで音読すると約3時間
 - 外国人が馬車の中で読んだら倍以上＝6時間？
 - 馬車のスピードを約10kmとすると、エルサレムから約60kmほど来たあたりか？（サマリアから110km）
 - 53章以外だとイエス様の話はしにくい！

イザヤ書の巻物
7.3m



神様のタイミング

- どのタイミングで天使は声をかけたのか？
 - フィリポは徒歩であったので、4～5日かかる
 - 神様は宦官がエルサレムを経つ数日前にフィリポを出発させている！





神様のタイミング

- 神様は、たった一人の、しかも異邦人の宦官のためにフィリポを遣わした
- フィリポはその命令に即座に従い、目的も分からず、正確な場所も知らず、とにかく出かけた！
- 神様は宦官の出発時刻を知った上で、フィリポを絶妙のタイミングで旅立たせた！

神様のタイミング

一人の魂も大切に
思っている神様

神様の召しにはとにかく従う信仰が大切

- 神様は、たまたまの、しかも異邦人の宦官のためにフィリポを遣わした
- フィリポはその命令に即座に従い、目的も分からず、正確な場所も知らず、とにかく出かけた！
- 神様は宦官の出発時刻を知った上で、フィリポを絶妙のタイミングで旅立たせた！

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」(伝道者の書3:11／新改訳)